

原発再稼働・戦争法「おかしい」

官邸・国会前

大抗議行動全国から

22日に行われた官邸前反原発連合主催の「反原発立憲首相官邸前・国会前大抗議」では、再稼働反対の声をともに安倍政権への声が高まりました。



反原発大抗議で原発の再稼働反対、安倍首相はやめろと抗議する人たち＝22日、国会正門前

横浜市から娘(31)と参加した市原和子さん(49)は「安倍政権は早くやめてほしい」と語ります。「原発も米軍基地の問題も安倍さんは自分のこととして考えないのではありません。日本をどうしようとする気なのか？」と参加した横須賀市の橋本(さん)さんも「(49)も「再稼働も戦争法も絶対におかしい。国民の声を聞かない安倍政権を早くやめさせなくては」と語気を強めました。「川内とどうも再稼働反対 STOP核発電」と刺さった手作りの布を掲げるのは東京都大田区の女性(66)。「誠実さを全く

感じられない首相が國のトップにいるというところは情けないし残念。これまでもできる限り行動に参加してきましたし、今後も続けます。私の生活の一部です」と話し、「安倍はやめろ」のコールを続けていました。都内北区から参加した増田拓さん(43)は「保育士は「原発再稼働も戦争法も実行されるから、国民が犠牲にならない以上、主婦層である私たちが声をあげ、行動するしかない。共産党が提唱したように『戦争法廃止』で一致する政見で政権をつくるのはいいですね。地方からの参加者も数多くいました。京都府宇治市から初めて参加した大学4年のみきさん(22)は「福島原発はいまだに深刻な事態なのに再稼働なんておかしい。主催者は私たちが国民。原発も戦争法も米軍基地も対米従属の構造に、一言もない政府は情けない」と憤ります。広島市から8月30日

「安倍やめろ」コール

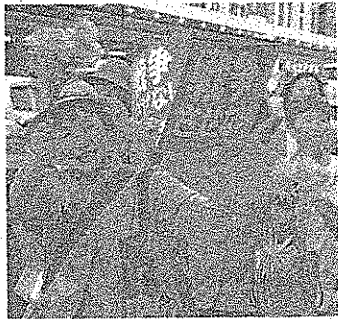
戦争法廃止をアピール

女性「子どもを守る」

レッドアクション

「戦争はあかん」と22日、戦争法に反対する京都府内の女性有志らが京都市内をデモ行進しました。約100人が集まり、「これの子どもも殺させへん」「無理やり通した採法無効」とコールし、繁華街に声を響かせました。主催は、京都府内の

女性有志をつなぐ「戦争アカン! 京都・おんなのレッドアクション」。赤いものを身につけた女性らが道にアピールしました。年内に男の子を出産予定だという教員の女性(30)は、途中から参加しました。「教育で戦争を推進することになるかもしれない。生まれてくる子どもも心配です」と話しまし



「戦争したがる総理はいらない」とコールする参加者＝22日、京都市

日本共産党の食林明子参院議員が参加し、あいさつしました。同日、国際婦人年京都連絡会が主催した

国際婦人年京都集会(2)が同市内で開かれました。シャーナリストで和光大学教授の竹嶋三恵子さんが講演。参加した日本共産党の

東京・渋谷

「連休あっても忘れない」

「戦争法廃止を求め、NO WAR デモ」が22日、東京都渋谷区であり、約500人がバンドの生演奏に合わせて「他國の戦争力を減らす」「連休あっても忘れない」など声を上げながら休日の繁華街を行進しました。



休日の繁華街を行進するデモ参加者＝22日、東京都渋谷区

と4団体を中心に行き委員を呼んで呼びかけました。デモに先立つ集会で、参加団体の一つ「秘密保護法を廃止する女子会(足立)」の佐藤(さん)さん(45)は「私は保育士。子ども同士がけんかしたら、互いに折り合いをつけることの大切さを伝えていきたい。武力は解決にならない。武力は解決にならない」と訴えました。行進を先導するトラック荷台からのバンド

の音に注目が集まりました。歩道からの声援やカッパポスターに、参加者が応じる場面も見られました。ミドル文代表で行政書士の岩崎直広さん(56)は「中年世代が声を上げてこなかったから民主主義の危機が生まれた。責任世代。悔いのような思いからミドルズを始めた」と語りました。実行委員の山村よしとさん(50)は「デモに対する周囲の受け止めが変わってきた。『特殊な人』という感じから『ああ、やってくるな』。戦争法廃止は誰にも共感できるテーマなのではないか」と話していました。